



I N A C H O ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良

 <p>ロータリーのマジック</p>	<p>2024-2025 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック</p>	<p>2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック <米国ペンシルバニア州></p>	
<p>第1711回例会 令和6年8月27日 (火)</p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 加藤篤ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・国際ロータリー第2600地区会員増強委員長 金児進 様

■ 会長談話 熊谷健会長



前回の会長談話で、「ロータリーの友」8月号で「国際ロータリー DEI 諮問委員の宮里唯子さんが、「DEI について日本は発展途上国であると言えるが、これは男性中心、年功序列の社会環境に加え、歴史や文化に根付くものであり、一方的に恥じたり責められたりするべきではない。」と書いていることを紹介しました。

実際、「発展途上」と言われる日本のジェンダーギャップの現状、あるいは女性の社会進出の現状はどの程度であるか、調べてみました。

1970年のILO(国際労働機関)の各国の女性の労働力(15歳から65歳の生産人口年齢)では、トップはフィンランド、2位が日本となっていました。この時期、賃金や各職等の男女格差は今と同様ですが、日本は、国際的に見ても女性が働く社会でありました。

しかし、日本では、これ以降女性の社会進出の後退が進みます。

「世界経済フォーラム」(世界が直面している問題改善に取り組むことを目的とした民間非営利団体)が毎年公開している「ジェンダーギャップ指数」(各国の男女間の不平等を数値化したもの)によると、2023年の日本のランキングは146か国中125位となっており、マスコミでは「先進国で最低」と言われました。しかし、実際にはOECD加盟国はもとよりアジアの主要国と比べてもほぼ最低となっています。

なぜ、50年の時を経て、このような結果になってしまったのか。欧米諸国は、1970年代以降急激に女性参画を拡大する政策を採ってきました。

それに対し、日本の経済は1970年代から80年代の間、好景気で安定成長の時期にありました。他の国が、経済の不安状況の中ジェンダー平等に方向転換していく状況にも拘わらず、日本は、今までのジェンダー構造を維持することを選択しました。例えば「男性の長時間労働の拡大」「家事・育児に携わる女性の年収100万円以下の非正規労働」などを容認し、いわゆる「男性主導の社会システム」を維持し続けました。

それは、バブルが崩壊し、少子高齢化社会が深まっていくことが予想されてからもなかなか変えることができませんでした。先ほどの、宮里さんが言われるような「男性中心や年功序列の社会環境」という日本独自の社会構造は、世界の変化への対応に遅れるという結果をもたらしました。

しかし、この男性中心意識というのは、私たちの無意識の中に深く根付いていて、なかなか治らない、払拭できない、ということが問題であると思います。ジェンダーギャップに対する無意識の差別をなくす、という大きな課題が私たち男性に課せられている、と言ってもいいと思います。

女性の立場に立つと、社会では「男は男らしく、女は女らしく」とか「女の子はそんなにがんばらなくてもいい。」と言われ、家庭では、「結婚したら夫の氏を名乗るのが当たり前」「家事や育児は女性の仕事」と看做され、職場では「何々ちゃん」とちゃん付で呼ばれたり、「かわいいね」と言われボディタッチをされたり、女性であるからこそ受ける偏見や差別、ハラスメントが多々あります。

私自身自戒を込めて言いますが、男性の立場で、これらが女性に対する偏見や差別だと認識できる感性を本当に持っているのでしょうか？

この感性を磨くことが、ジェンダーギャップに対するD E Iを理解する一つの手段であると思います。我がクラブには女性会員が6名います。女性会員がジェンダーギャップを感じないように、男性会員は努めて行かなければならないと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆金児進 様 伊那中央RCのみなさん、本日はお世話になります。会員増強委員長として2回目となります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
- ◆熊谷健 本日は、2600地区会員増強委員長 金児進様、遠いところお越しいただきありがとうございます。会員増強の卓話をよろしくお願ひ致します。
- ◆小椋文成 金児地区会員増強委員長様、本日は卓話をよろしくお願ひいたします。
- ◆伊藤かおり 地区会員増強委員会委員長 金児様、本日は伊那中央RCへお越し下さりありがとうございます。本日も宜しくお願ひ致します。
- ◆橋爪麻人 小諸から1時間半かかるのでしょうか。20分の卓話、大事に聞かせていただきます。
- ◆池上幸平 孫の泰平がフェンシングのフルーレの部で、8月31日に静岡で行われる全国大会に出場できる事になりました。常日頃の本人の努力と、皆様の応援のお陰と思い感謝いたします。本日は金児会員増強委員長、卓話をよろしくお願ひします。
- ◆井上修 パリオリンピックでフェンシング初金メダルを取りました。なんと、伊那谷にその継承者の小学生がおり国体に出ます。更になんと、その人は極悪会員 池上幸平さんのお孫さんです。トンビが鷹を生むとはこういう事です。
- ◆伊澤和男 無事、I.M.の反省会も終わりました。皆さん大変お世話になりました。
- ◆唐澤千明 先日のマレットゴルフ大会で優勝しました。何連勝か分かりませんが、引き続き優勝を目指します。

■ 幹事報告 小椋文成幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・8月22日（木）最終I.M.実行委員会の報告 伊澤和男I.M.実行委員長



去る令和6年8月22日、JA上伊那フラワーパレスにて最終実行委員会が開催され、反省、引継ぎ事項などの協議がされました。伊那中央ロータリークラブの会員全員の協力により素晴らしい大会になり、ありがたいという言葉が多く、特に宮下幹事の企画力には皆感謝感謝でした。同時に決算報告もあり残金 49,339 円は奉仕会計にとの事でまとまりました。

■ 出席報告

会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者25名 事前メイク0名
出席率62.5% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「会員増強・プログラム委員会」

・委員長あいさつ・卓話者紹介 橋爪麻人会員増強・プログラム委員長



本日のクラブフォーラムは、昨年に引き続き地区会員増強委員長の金児進さんに卓話をお願い致しました。

金児さんは2600地区で初めてのEクラブ信州友愛RCを立ち上げた方で、そのパワーと綿密さは本日短い時間ではありますが、卓話の中で十分に感じ取って頂けると思います。

それでは金児さんよろしくお祈りします。

・卓話 国際ロータリー第2600地区会員増強委員長 金児進様



伊那中央 RC の皆さん、いつも大変お世話になっております。この度は貴クラブ様の訪問卓話にお招き頂き誠にありがとうございます。

昨年に続き2回目の卓話となりますこと、大変感謝しております。それだけ貴クラブ様の会員増強に対する熱い思いがあるのだらうと拝察いたします。

会員増強は結果であって、その為にはやるべきことがあります。シニア会員の皆さんがキーポイントです。

- 1 クラブの居心地をよくすること（楽しいクラブ）
- 2 世代のギャップを埋める努力をすること（方法を検討）
- 3 シニア会員にはもっと活躍して欲しいと思います。新たな挑戦（衛星クラブ創立）をして欲しいです。
- 4 オープン例会を適時開催して入会候補者を多く誘い、さらにはクラブの活性化をする。
- 5 衛星クラブを創ってクラブに違ったパターンの受け皿を用意する。

こうしたことに果敢に挑戦していけば、必ずクラブは更に活性化し、新しい仲間は間違いなく増えていくこととなります。

ロータリーは国際ロータリーとクラブの二元連立です。そしてこれはトップダウンの組織ではありません。クラブがクラブのため、会員の為に何が必要で最善かを常に考える必要があります。ロータリーはクラブが主体です。

ガバナー・地区はクラブのサポート役です。クラブ発展の為にどんだん地区やガバナー・ガバナー補佐を使っていくべきです。決して指示待ちや受け身にならないでください。

会員・クラブが積極的になってこそロータリアンが増えていくという構造をもう一度再認識しましょう。

これからも伊那中央クラブさんが益々発展し、クラブ会員皆様のご健康でありますようにご祈念申し上げます。今後ともよろしくお祈り申し上げます。



■ 点 鐘

13:30

次回例会

9月3日（火）点鐘／12:30 場所／海老屋料理店

- ・窪田雅則ガバナー補佐事前訪問例会
- ・例会終了後：クラブ協議会（ガバナー補佐事前訪問）